国際石油開発帝石株式会社
INPEX CORPORATION

平成 25 年 6 月 27 日

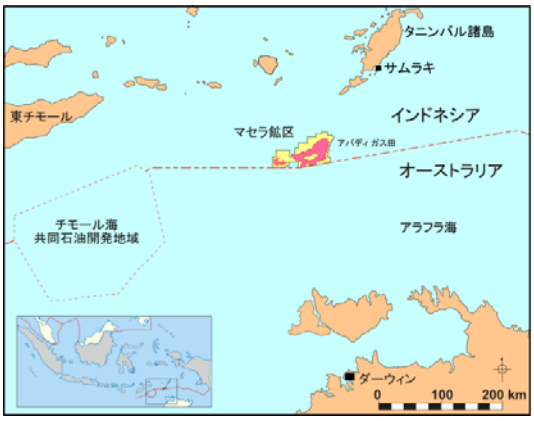
各　位

国際石油開発帝石株式会社
広報・IR ユニット
（電話：03-5572-0233）

インドネシア共和国　アバディ LNG プロジェクト（マセラ鉱区）参加権益取得手続きの完了について（お知らせ）

国際石油開発帝石株式会社（以下、当社）は、子会社のインペックスマセラアラフラ海石油株式会社を通じて、インドネシア共和国アラフラ海マセラ鉱区においてアバディLNGプロジェクト（以下、本プロジェクト）の開発準備作業をオペレーターとして実施しております。

本プロジェクトにおいて、PT EMP Energi Indonesia社（以下、EMPI社）が保有していた参加権益10%全ての譲渡を決定したことに伴い、当社およびパートナーのShell Upstream Overseas Services (I) Limited社（以下、シェル社）がEMPI社の参加権益の一部（5%）をそれぞれ取得することに合意しておりましたが、このたび、参加権益取得のために必要な手続きが完了しましたのでお知らせいたします。



今回の権益取得により、本プロジェクトの参加権益比率は、当社65%、シェル社35%となります。

当社は、インドネシア政府関係者をはじめとする同国関係者およびその他のプロジェクト関係者のみなさまのご理解とご協力を得ながら、本プロジェクトを早期に立ち上げるために引き続き努力してまいります。

以上

「補足・関連情報」

国際石油開発帝石株式会社
INPEX CORPORATION

アバディLNGプロジェクトについて

当社は、1998 年のインドネシア政府による公開入札により本プロジェクトが位置するマセラ鉱区の探鉱権を取得、その後の探鉱・評価作業により LNG 開発に十分な天然ガス埋蔵量があることを確認。2010 年には、マセラ鉱区内で発見したアバディガス田を段階的に開発することとし、その第一次開発として、LNG 年産 250 万トンサイズの浮体構造に天然ガス液化設備を搭載したフローティング LNG1 基による開発計画についてインドネシア政府から承認を受けた。現在、開発準備作業として基本設計作業を実施中であり、これとは別にアバディガス田の天然ガス埋蔵量に応じた追加開発の検討も実施している。